

Day2

アイデアから次のイノベーション創出  
アクティビティへつなげる方法

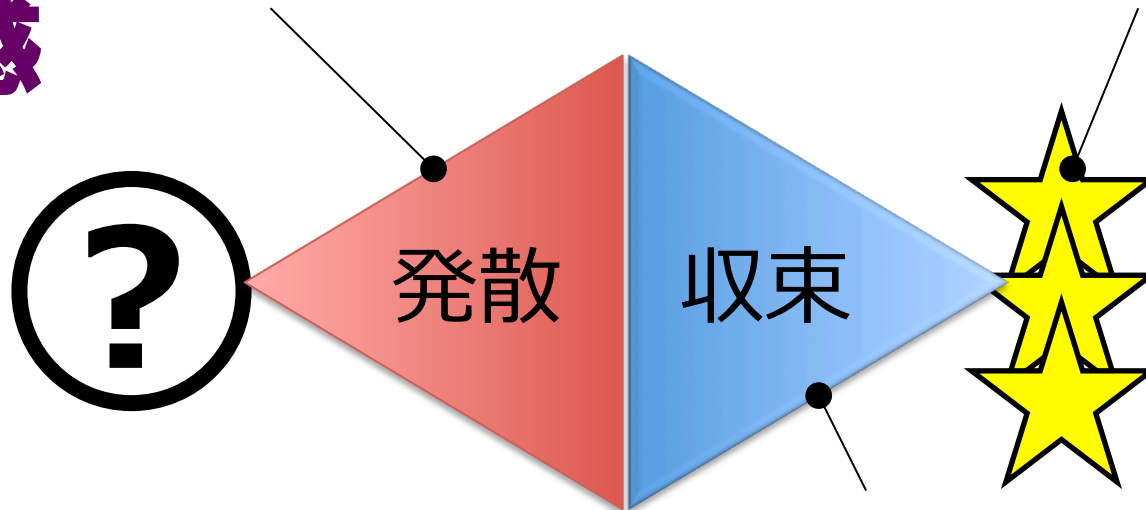
ワークのインストラクション資料

# ワークの全体像

思考の発散から解空間を拡張し  
インサイトを得る

ブレインストーミング  
共感

インサイト群

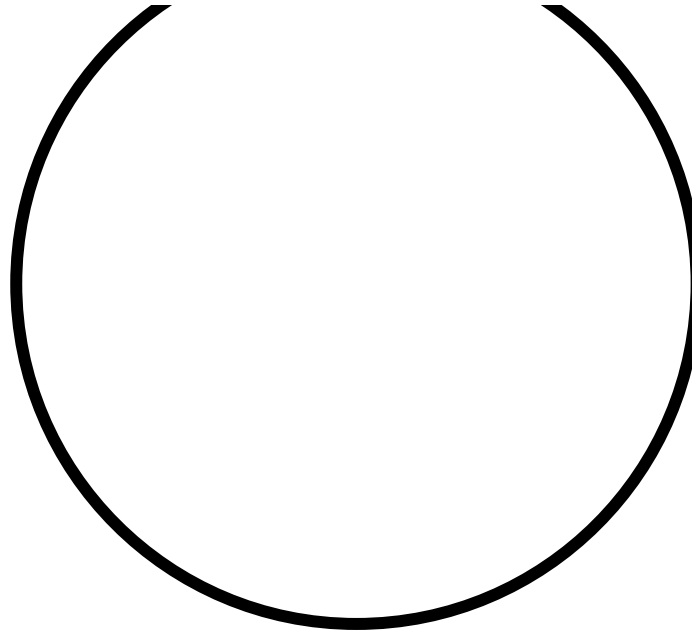


親和図法  
相互理解

# ワークの流れ (イメージ)

全ての解の空間

既存の解の空間

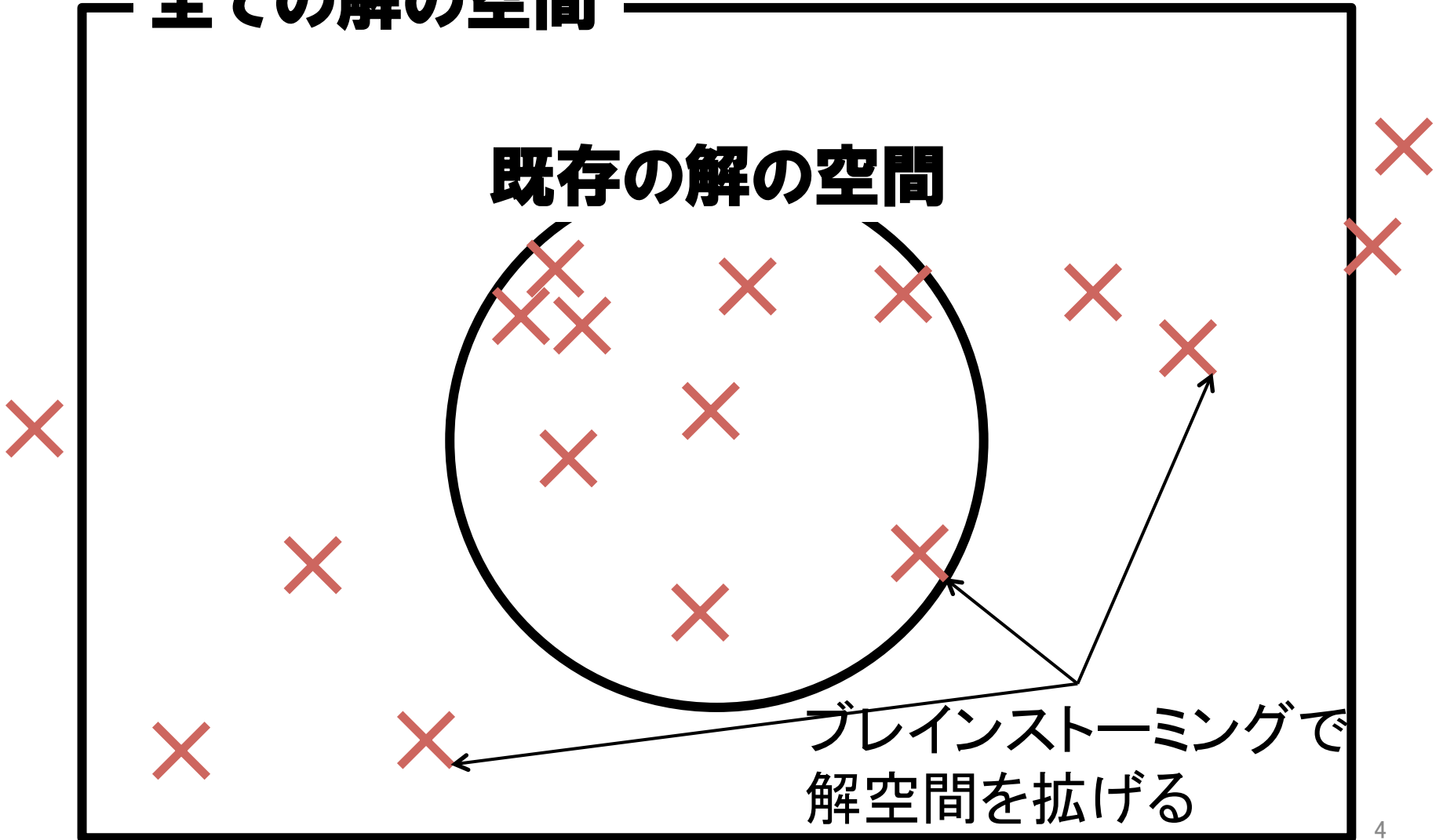


# ワークの流れ (イメージ)

全ての解の空間

既存の解の空間

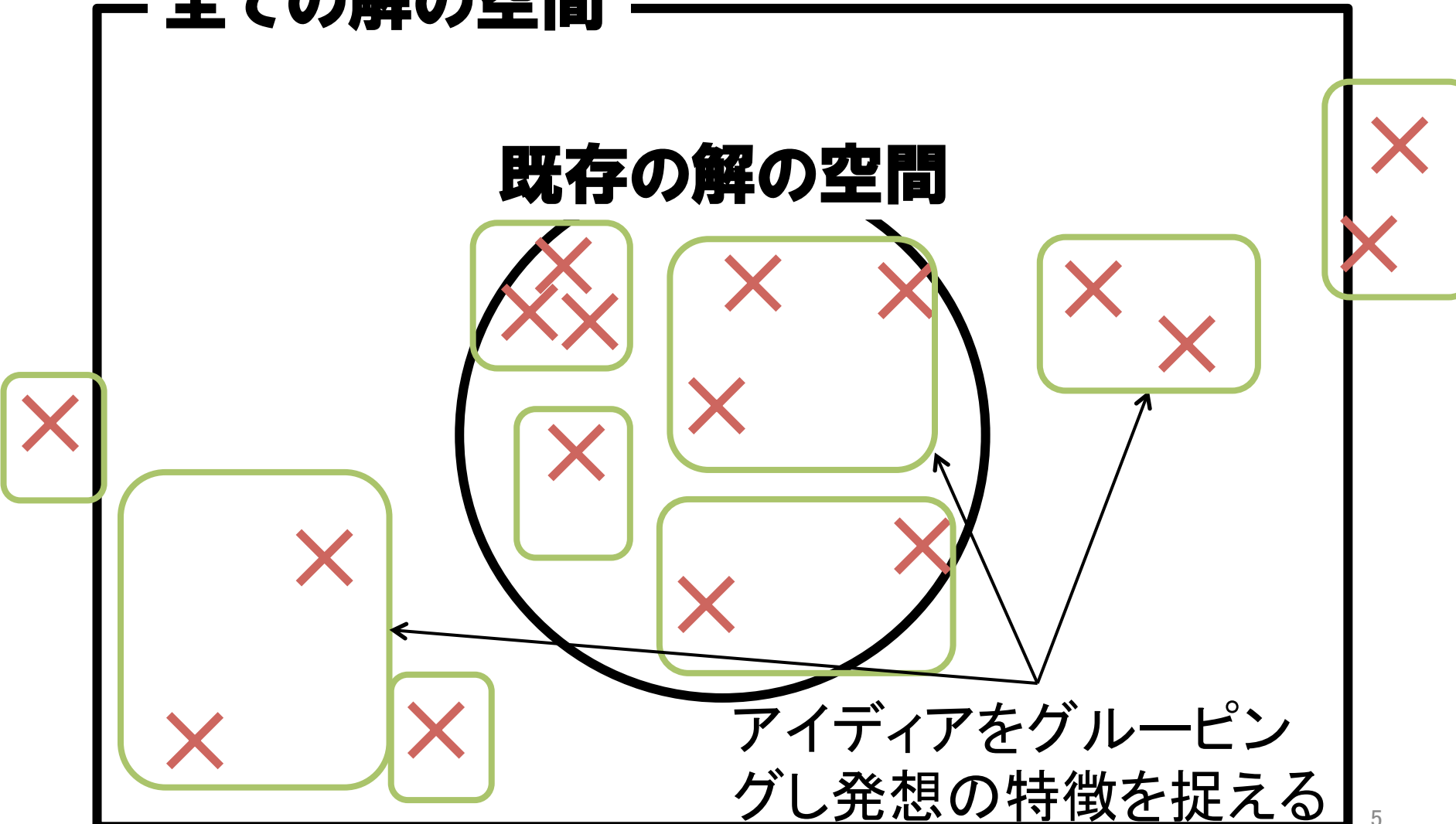
ブレインストーミングで  
解空間を拡げる



# ワークの流れ (イメージ)

全ての解の空間

既存の解の空間

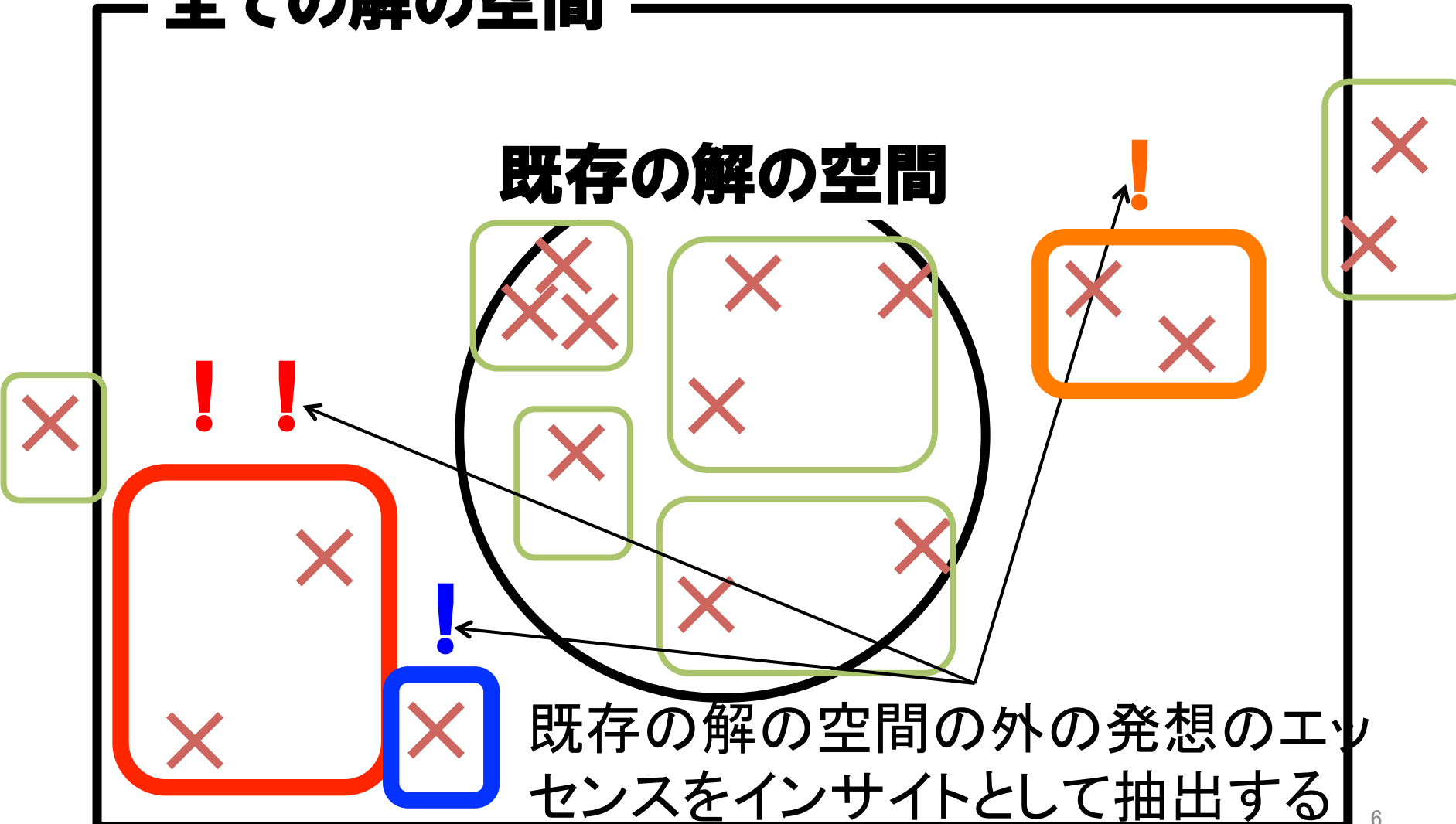


アイデアをグループ  
ングし発想の特徴を捉える

# ワークの流れ (イメージ)

全ての解の空間

既存の解の空間



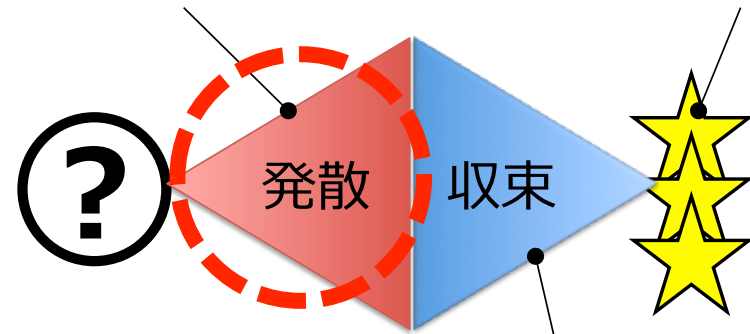
既存の解の空間の外の発想のエッセンスをインサイトとして抽出する

# このサンプルの状況の想定

- ある医科大学からスピノフした化粧品開発・販売の**ベンチャー企業**。
- 他社では取り組んでいない、これまでにない、**新たな製品、サービス、またそのマーケティング**を検討したい。
- その為にまずは「**エイジング**」を改めて解釈し、**解空間を広げる**。
- 広げた解空間の中から**次のアクティビティに繋がるインサイト**を見つける。

ブレインストーミング

インサイト群



親和図法

Brainstorming



# 正しいブレインストーミング

# 「集合知」の有効性は科学的に立証されている

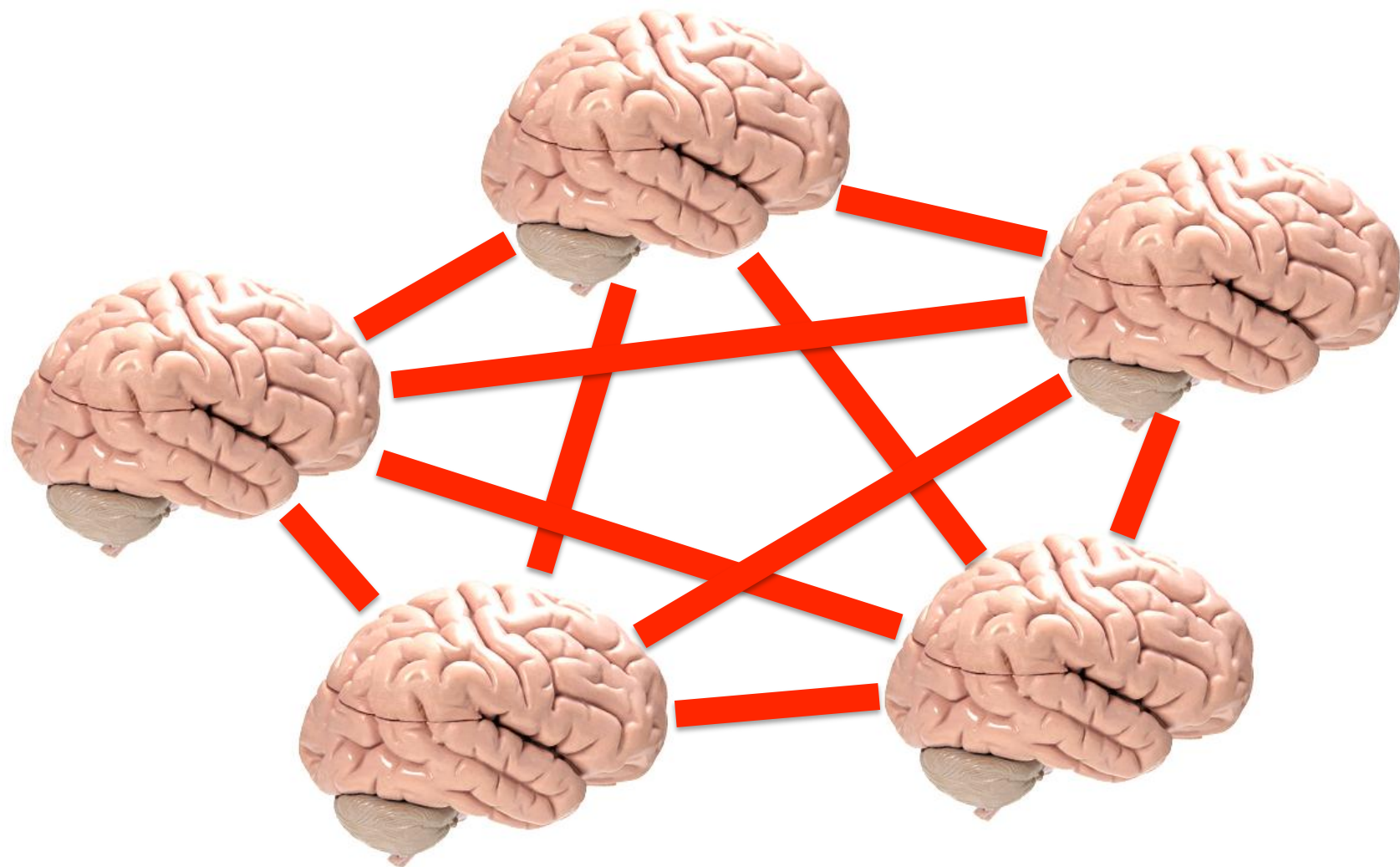
*Science* 2010年10月29日号所収論文 (Williams Woolley *et al.*)

- 699名を被験者に2~5人のグループを形成
  - パズルやブレインストーミング、集団での価値判断などの作業
  - 作業後の被験者の知的パフォーマンスをコンピュータ対戦型のチェッカーゲームの勝敗などで測定
  - 集合知による知的能力の向上: 統計上有意に観察
- 「**Cファクター**」: 人々が一緒に作業することで高まる知的能力
  - グループメンバー個人の知的能力にはさほど相関しない
  - **社会的感応度の高さに正の相関**
    - 「相手の表情を読む」すなわち「空気を読む」能力
  - グループ内の女性の多さに正の相関
    - 女性は一般的に社会的感応度が高いとされる
  - **少数のメンバーが会話を独占するグループでは負の相関**

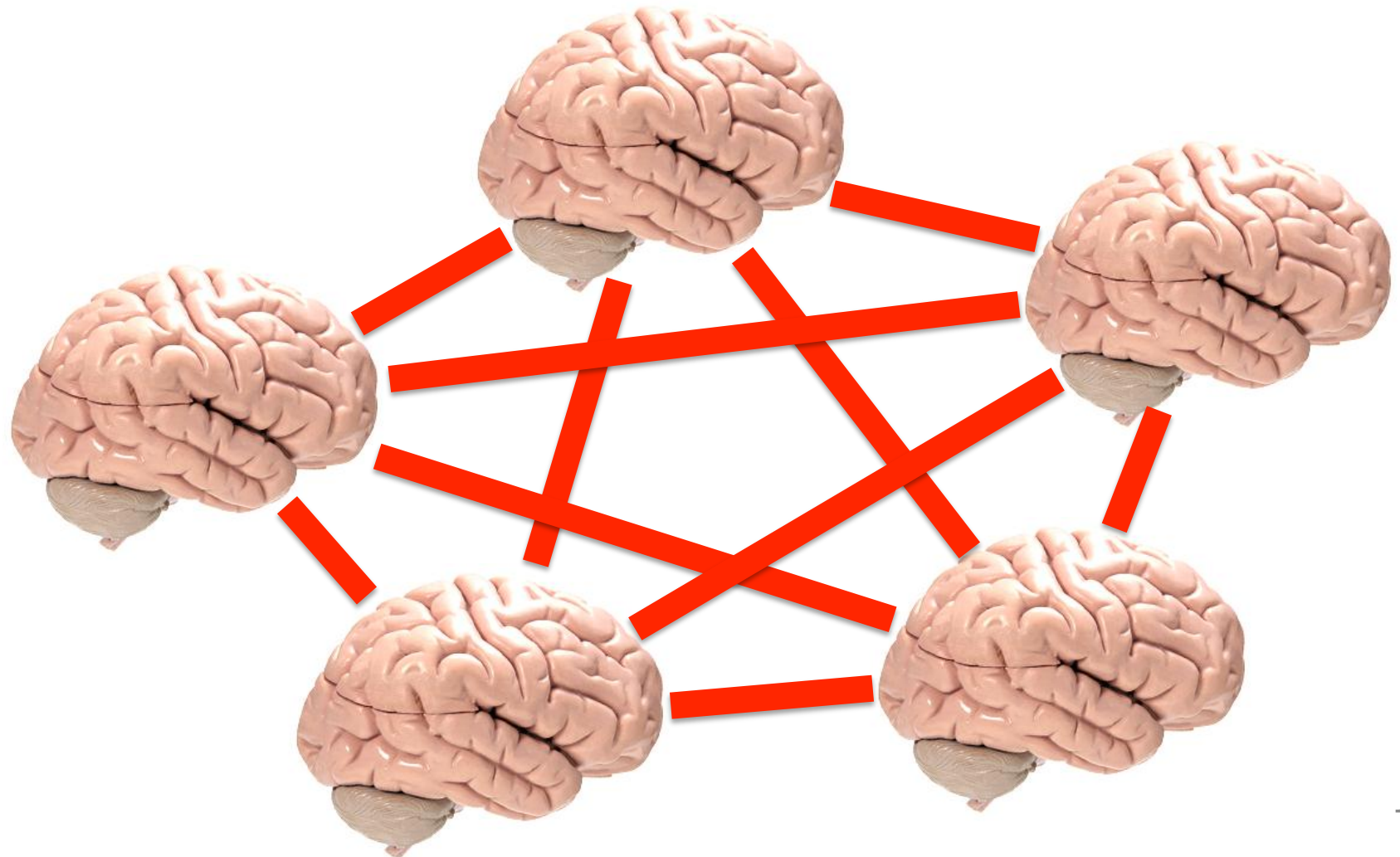
# 脳(無意識)を接続せよ



# 脳(無意識)を接続せよ



**「意識」で考えず、  
他人の考えに乗っかる！**



(一般論ですが、)

## 悪いコメントと良いコメント

- 悪いコメント: **否定**「××がダメだね」
- 中くらいのコメント: **肯定 + 否定**「〇〇はいいね。でも、××はだめだね」
- 良いコメント: **肯定 + 助言(否定ゼロ)**  
「〇〇はいいね。××を◇◇にするとさらにいいね。」

**注)ブレインストーミング中にはコメントはしない!  
ひたすらアイデアを出すだけ。**

# ポジティブ原則

○×△  
◆□!

いい  
ねえ～

ある  
ね!

Wow!

そうそ  
う!



# ポジティブ原則

「幸福学」研究の知見:

ポジティブな気分→システムの発想

ネガティブな気分→部分的発想

ポジティブ  $\propto$  楽観的  $\propto$  幸福

ネガティブ  $\propto$  悲観的  $\propto$  不幸



# 質より量



枠にハマらない  
スカイハイな発想を！  
くだらないアイデアを  
恐れるな！



付箋紙

はっきり、  
くっきり、  
わかりやすく、  
大きな字で!

必ず

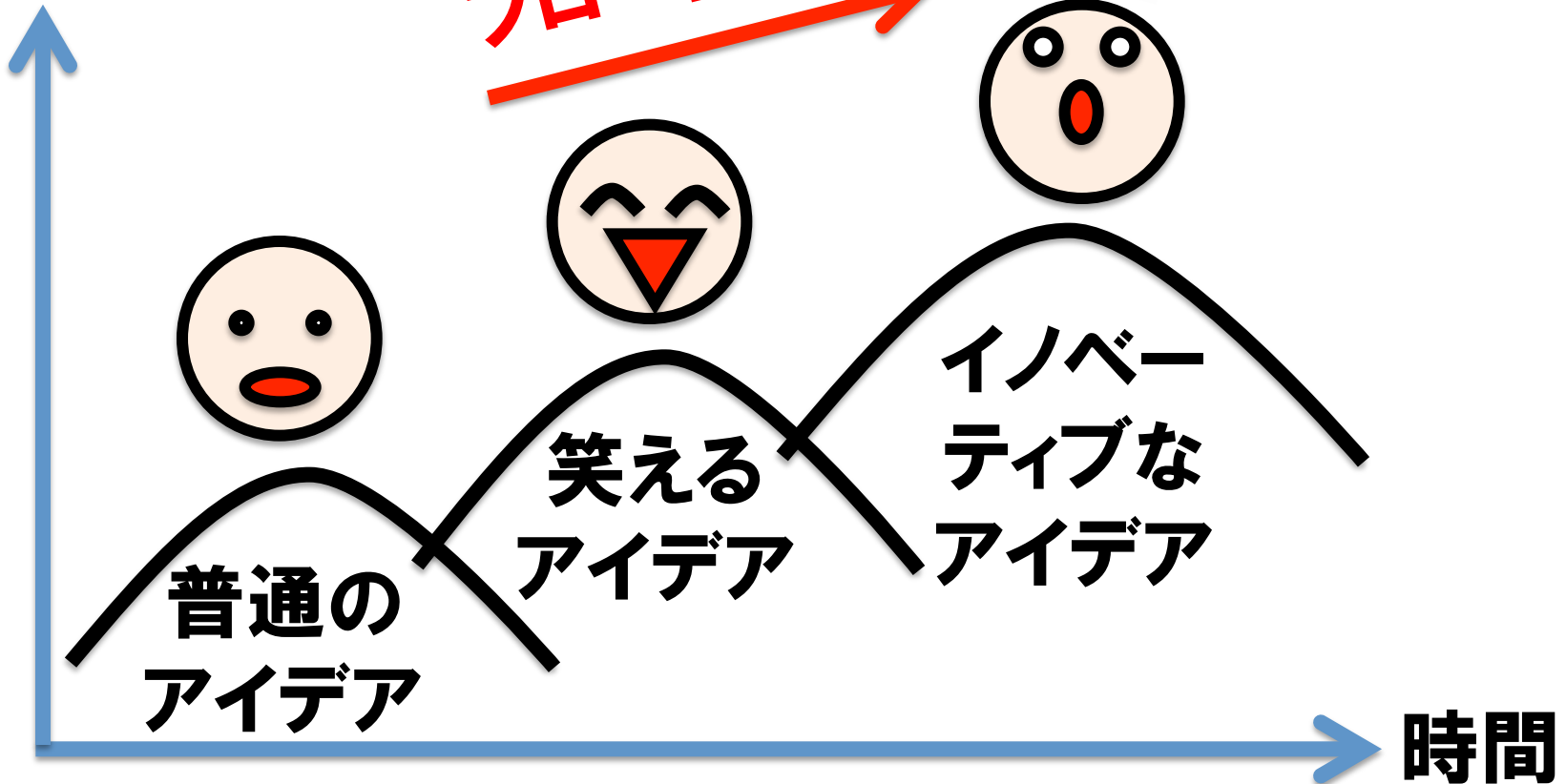
大きな声で読み上げる

# よいブレインストーミングとは

アイデアの  
質・量と面白さ

ランナースタート!  
フロー状態!?

協創!



「こんなことを言ったら、  
人格が定評されるかも」

「こんなことを言うと、  
人格が定評されるかも」

はずかしい...

他の人が発表している間に  
自分の案を述べる。  
一人で喋りすぎ。  
聞こえないような声。  
分かれて部分ごと、全話。

「だってよくあるよ」

「それって、前に〇〇やってた」

「それはね、前にかね……。」

「それってテーマから外れてない？」

「それが一番いい。もそれを

最終案にしよう！」